

統合報告セミナー

統合報告書が機関投資家との有効な対話ツールとなるために 今、企業に求められる情報開示とは

主催：有限責任監査法人トーマツ
ESG・統合報告アドバイザー

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)による環境・社会・ガバナンス(ESG)投資の推進を背景にして、機関投資家の投資判断におけるESG情報の重要性は高まっています。また、2017年11月に日本経済団体連合会が企業行動憲章を改訂し、会員企業に対し、ESGに配慮した経営の推進による、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成を求めました。この流れを受け、統合報告書においても、事業を通じての社会課題の解決の道筋や、経営戦略を柱として非財務情報やSDGsを一つの価値創造ストーリーとしてつなげた情報開示が広まっています。その一方で、企業の中には、経営戦略を含めて、統合報告書の中に実際に機関投資家との対話に必要な情報が含まれているのか、機関投資家との実質的な対話ツールとして有効に活用される情報開示になっているのか、という問題意識が高まっています。

本セミナーでは、このような企業の問題意識に答えるべく、『ストーリーとしての経営戦略』の著者である一橋大学大学院経営管理研究科教授 楠木建氏による基調講演で、経営戦略ストーリーの重要性に焦点をあてます。また、企業の開示責任者と機関投資家による、企業と機関投資家との対話に役立つ統合報告書、ESG情報開示の実効性をテーマにしたパネルディスカッションをご用意しました。

ご多忙とは存じますが、この機会に是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 開催日時 2018年10月1日(月) 13:30~16:30 (受付開始:13:00)
※ 会場の都合により受付開始時間より前に入場できない場合がございますので予めご了承下さい。
- 会場 大手町サンケイプラザ 4階ホール
(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2)
- 対象者 経営企画部門/IR部門/CSR・サステナビリティ推進部門/財務・経理部門の実務担当者、責任者
- 定員 200名
※ 同業他社の方、および個人の方のお申込はお断りさせていただきます。
- 受講料 無料
- 申込方法 Webサイト(<https://www2.deloitte.com/jp/semi4638>)よりお申し込みください
※ 本セミナー申込に際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。ご回答いただく内容は、SSL暗号化通信により内容の保護を図っております。
※ お申し込みは1名様ずつのご登録が必要となります。
※ 過去にデロイト トーマツ グループ各社のセミナーにお申し込みいただいた方、または現在当グループのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご登録済みのID・パスワードでお申し込みいただけます。
※ 受講者の方へは、セミナー開催1週間前を目安に受講票のご案内メールをお送りいたします。
当日は受講票と名刺をお持ちの上、ご来場下さい。

■ プログラム

開催時間	内容	講師
13:30~13:35	開会のご挨拶	有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー パートナー デロイト トーマツ サステナビリティ株式会社 代表取締役社長 達脇 恵子
13:35~14:35	【基調講演】 ストーリーとしての競争戦略	一橋大学大学院経営管理研究科教授 楠木 建氏
14:35~14:45	休憩	
14:45~16:15	<p>【パネルディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 企業価値向上に資する自社の価値創造ストーリーを投資家にわかりやすく伝えるにはどのようにレポートに表現すべきか ■ 非財務情報、ESG(情報)、SDGs について、経営戦略と関連させながら、どのようにレポートに表現し、企業価値向上へつなげていくべきか 	<p>〈パネリスト〉</p> <p>MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社 取締役 副社長執行役員 グループ CFO 藤井 史朗 氏</p> <p>株式会社ユニテッドアローズ 執行役員 IR 広報部 部長 丹 智司 氏</p> <p>あすかアセットマネジメント株式会社/ あすかコーポレートアドバイザー株式会社 取締役 ファウンディング・パートナー 光定 洋介 氏</p> <p>シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社 運用部 日本株式ファンドマネジャー 豊田 一弘 氏</p> <p>〈コーディネーター〉</p> <p>有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー ディレクター 貝沼 直之</p>
16:15~16:25	質疑応答	
16:25~16:30	閉会のご挨拶	有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー ディレクター 貝沼 直之

※講演テーマ・講師は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

■ 登壇者プロフィール

講師	プロフィール
 <p>楠木 建 氏 一橋大学大学院 経営管理研究科教授</p>	<p>一橋大学大学院経営管理研究科教授。専攻は競争戦略。企業が持続的な競争優位を構築する論理について研究している。大学院での講義科目は Strategy。一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。一橋大学商学部専任講師(1992)、同大学同学部助教授(1996)、ポッコーニ大学経営大学院(イタリア・ミラノ)客員教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授(2000)を経て、2010年から現職。</p> <p>著書として『「好き嫌い」と才能』(2016、東洋経済新報社)、『好きなようにしてください:たった一つの「仕事」の原則』(2016、ダイヤモンド社)、『「好き嫌い」と経営』(2014、東洋経済新報社)、『戦略読書日記』(2013、プレジデント社)、『経営センスの論理』(2013、新潮新書)、『ストーリーとしての競争戦略:優れた戦略の条件』(2010、東洋経済新報社等多数。</p>
 <p>藤井 史朗 氏 MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社 取締役 副社長執行役員 グループ CFO</p>	<p>1979年4月大正海上火災保険株式会社(現 三井住友海上火災保険株式会社)入社。経営企画、商品業務、損害サポート、営業、システム・事務等の業務経験を有する。</p> <p>三井住友海上火災保険株式会社 常務執行役員を経て、2013年 MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社 取締役専務執行役員に就任、2015年から現職。グループCFOとして、総合企画部、広報・IR部、グループ事業支援部、海外生保事業部、IT企画部、国際管理部、監査部を担当。</p> <p>2015年度より発行している「MS&AD統合レポート」の発行責任者として、保険・金融サービス事業を通じて社会的課題の解決を目指すグループのミッションを「価値創造ストーリー」として整理し、社内外のステークホルダーに積極的に発信、MS&ADグループとしての価値向上に取り組む。</p>
 <p>丹 智司 氏 株式会社ユニテッドアローズ 執行役員 IR 広報部 部長</p>	<p>1998年 ㈱ユニテッドアローズ入社。財務経理部門を経て2002年よりIR部門へ異動、以降現在まで責任者としてIR業務に携わる。</p> <p>IR関連業務の受賞履歴:2002年 日本IR協議会 IR優良企業奨励賞、2003年および2005年 IR優良企業賞、2013年 IR優良企業特別賞、2014年 IR優良企業大賞。2013年~2017年 米国金融情報誌「Institutional Investor」の「All-Japan Executive Team BEST IR PROFESSIONALランキング」にて小売部門1位を継続。他に経済産業省 企業報告ラボ委員を務める。</p>
 <p>光定 洋介 氏 あすかアセットマネジメント株式会社/ あすかコーポレートアドバイザー 株式会社 取締役 ファウンディング・パートナー</p>	<p>あすかアセットマネジメント株式会社/あすかコーポレートアドバイザー株式会社 取締役ファウンディングパートナー。産業能率大学経営学部教授。早稲田大学ファイナンス研究センター招聘研究員。証券アナリストジャーナル編集委員会委員。WICI統合報告書審査委員。都長銀、外資系運用会社にて上場株投資を経験した後、ユニゾン・キャピタルにてプライベート・エクイティ投資に従事。2005年に、投資先企業とのエンゲージメントを重視するあすかバリュウアップファンドをファウンダーとして立ち上げ、運用責任者に就任。また、これまでに複数の企業の社外役員の経験も有する。</p> <p>早稲田大学大学院ファイナンス研究科(MBA)首席修了。東京工業大学学術博士Ph.D。 論文や著書に、『株主構成と株式超過収益率の検証—市場志向的ガバナンスの我が国における有効性—』(2008 年度証券アナリストジャーナル賞受賞)、『ESG投資の研究—理論と実践の最前線』(2018年、加藤康之編著、一灯舎)等多数。</p>

 <p>豊田 一弘 氏 シュローダー・インベストメント・ マネジメント株式会社 運用部 日本株式ファンドマネジャー</p>	<p>2008年4月、シュローダー入社。日本株式運用の旗艦ファンドであるコア戦略の運用責任者であり、ESG評価を重視した公募投資信託「シュローダー・アジアパシフィック・エクセレント・カンパニーズ」の日本株式運用も担当。また、議決権行使やエンゲージメントを担当するスチュワードシップ委員会の責任者を務める。</p> <p>1990年東京大学経済学部卒業、1998年国際大学大学院にてMBA取得。CFA協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会検定会員。</p>
 <p>達脇 恵子 有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー パートナー デロイト トーマツ サステナビリティ 株式会社 代表取締役社長</p>	<p>これまで ESG(環境・社会・ガバナンス)、リスクマネジメント、内部統制などの各種ガバナンス関連のコンサルティングに従事。現在はデロイトサステナビリティ 日本統括責任者としてクライアントの ESG 領域における取り組みを支援。2017年よりデロイト トーマツ サステナビリティ株式会社の代表取締役社長を務める。主な実績は CSR レポート・統合報告書の作成コンサルティングやマテリアリティ評価を含む CSR 戦略立案コンサルティング、およびその企業戦略への組み込み支援等。</p>
 <p>貝沼 直之 有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー ディレクター</p>	<p>生命保険会社にて、未上場企業株式調査業務、ファンドマネジャー兼アナリストとして日本株の運用・調査業務、年金クライアントサービス業務、経済企画庁(出向)にてエコノミストなどの業務を行う。外資系証券会社にてセルサイド・アナリスト業務に従事。外食業にて、取締役広報室長兼コーポレートガバナンス室長として上場企業の経営に参画。小売業にて、理事執行役員IR室長としてIR業務の統括と経営企画業務の支援を行う。</p> <p>資本市場でのバイサイド、セルサイド双方の経験を有するほか、上場企業での取締役業務、IR業務、コーポレートガバナンス業務、経営管理業務など、資本市場における包括的な経験を有す。</p>

- **会場**
大手町サンケイプラザ
4階ホール
 (〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2)

<アクセス>

各線「大手町駅」下車 A4・E1 出口直結/ 丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線

東京駅から大手町サンケイプラザへの道順

- ① JR 東京駅で降りましたら、「丸の内北口」改札に向ってください。
- ② 改札を出てすぐの交差点を渡ってビル沿いに道なりに進んでください。
- ③ 次の交差点を渡って右折してください。
- ④ まっすぐ進んで信号3つ目左側ガラス張りの高層ビルが東京サンケイビルです。
(赤い大きなオブジェが目印です)
- ⑤ 大手町サンケイプラザの会場は 2～4 階になります。
1 階よりエスカレーターで 4 階までお上がりにください。



■ **問い合わせ先**

有限責任監査法人トーマツ セミナー事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル

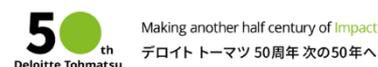
TEL: 03-6213-1515 E-mail: risk-seminar@tohmatu.co.jp

※Web よりお申込みができない場合は、セミナー事務局までご連絡ください。

(受付時間) 平日 9:30～17:00

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイト トーマツ 合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション 合同会社を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスク アドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 11,000 名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。



IS 669126 / ISO 27001

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited